

「(仮称)川下・柏木地区における新しい集会施設について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 令和2年9月23日（水）から令和2年10月23日（金）まで

【担当部局】 環境市民部広聴・市民生活課

【意見提出者】 57人

【意見件数】 18件

【意見への対応】	採用 : 意見に基づき原案を修正するもの	0件
	不採用 : 意見を反映しないもの	3件
	記載済 : 既に原案に盛り込まれているもの	0件
	参考 : 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	2件
	その他 : 意見として伺ったもの	13件

【意見の検討経過】 令和2年10月26日～11月9日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成
令和2年11月18日 関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「(仮称) 川下・柏木地区における新しい集会施設」に対する意見とその検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	設置個所については、有事の際の活用方法から計画地点での整備でよいと思うが、距離的に川下地区からの利用はほぼないと思われるため、計画時点での利用人数等は柏木地区に限定したほうが、完成後の利用率の調査の際、実態と相違がなくなると思う。	その他	新しい集会施設は、川下・柏木両地区における地域コミュニティ施設として、周辺地区も含め、地域の皆さんに有効に活用されるよう、施設の機能や利便性の向上、運営面の工夫を検討してまいります。
2	施設完成後は、有事はいつあるかわからないので、川下実田線の市道については通年開通としていただきたい。	不採用	市道川下実田線につきましては、夏期に比べ冬期の利用が少ないことや、吹き溜まり等の交通障害の発生が多いことなどから、冬期間閉鎖としておりますことをご理解願います。
3	川下・柏木地区の住民、両消防団員は集会施設がなく会議もままならず非常に不便な状況。早急な設置を望む。	参考	消防分団詰所スペースを含む新しい集会施設は、令和3年冬のオープンに向けて整備を進めてまいります。
4	川下コミセン、柏木コミセン、消防分団詰所の解体跡地に遊具を設置してほしい。	その他	旧施設解体後の跡地利用につきましては現在のところ未定ですが、今後、浜益区全体のまちづくりの観点から総合的な検討が必要であると考えます。
5	実田会館も老朽化しているので、当面、平時は現施設を利用することとし、有事の際には実田地区も加えてはどうか。	その他	今後、周辺地区の状況も踏まえ、新しい集会施設の有効活用について検討してまいります。
6	せっかく防災施設として建てるのに木造で大丈夫か。	その他	新しい集会施設につきましては、建設にかかるコストと耐久性のバランスを考慮した結果、木造としたところです。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
7	寄り合い的に使える施設がないままだと地域が疲弊するため、川下コミュニティセンター跡地に避難所機能を持たない集会施設を建ててほしい。	その他	<p>新しい集会施設につきましては、検討の当初から、二つの施設を一つに集約すること、自然災害の危険区域に新しい公共施設は建てないことを市の基本方針としてお伝えしながら、約2年間にわたり、地域の皆さんと話し合い、検討を重ねてきたところです。</p> <p>その結果、市の原案にある旧浜益スキー場敷地を新しい集会施設の建設地として選定したところであります、川下地区内に同様な集会施設を新設する予定はないことをご理解願います。</p> <p>また、避難所につきましては、既存施設の活用を基本としておりますが、現在の指定避難所である「旧浜益中学校」に加え「はます保育園」を避難所として活用できるよう検討しております。</p> <p>なお、「身近なコミュニティ拠点」として、柏木地区の空き店舗を会議等の集会に活用できるよう、必要な整備等を行うほか、「はます保育園」及び「JA北いしかり浜益出張所会議室」につきましても、地域の皆さんにご利用いただけるよう、必要な準備を進めてまいります。</p>
8	<p>川下地区（特に川下神社付近の高台）に避難所（または避難所機能を持つ集会所）を建ててほしい。</p> <p>（同様の意見：50件）</p> <p>《主な理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下地区には避難所がなく、市から提示された「はます保育園」は避難場所として無理があるため。 ・新しい集会所まで徒歩で避難することができず、車でも浜益川を渡るリスクがあるため。 ・川下地区の高台に避難場所があると、生存の確率が高まると考えるため。 ・近くに小規模でも会議ができる場所が必要なため。 <p>※その他避難所または集会施設の必要性に関するご意見（別紙）</p>	その他	
9	<p>浜益川河口付近に住んでいる住民や観光客が津波被害に遭わないよう「避難タワー」を建ててほしい。</p> <p>（同様の意見：3件）</p>	その他	
10	9月に行われた住民説明会で、川下自治会が集会施設の設置を要望した高台について、市から「水が出る」と言わされたが、雨が降った際のことであれば水が流れるの	その他	<p>一般的に傾斜地を造成するため斜面を切土した場合、それによって作られた法面は、降雨等による劣化、崩壊を防止するための湧水対策が必要となります。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	は当然。誰からそのような話を聞き、何を根拠に発言したのか。その発言を撤回していただきたい。		令和2年9月10日に開催した意見交換会では、川下神社付近の土地は、高台かつ斜面のため、大規模な造成工事及び湧水対策、取付道路設置工事等が必要となること、地権者が複数いるため権利関係の処理が複雑であること、国の史跡に隣接しており造成の調整に課題があることなどを鑑み、集会施設の建設地としては適さないと判断した旨を説明しております。
11	車のない人は、どうして行くことができるのでしょうか。	その他	新しい集会施設が川下・柏木地区の市街地から離れていることを踏まえ、「身近なコミュニティ拠点」として、柏木地区の空き店舗、はます保育園、JA北いしかり浜益出張所会議室を地域の皆さんにご利用いただけるよう、必要な準備を進めてまいります。
12	災害によって、避難する所も必要な物も変わり、国道を通る車や人にも対応できる考えを少しでも加え、次なる計画を早急に計画、実現してほしい。	その他	地域防災に関するご意見として承ります。
13	この件はもっと時間をかけ、住民と向き合うべきだったと思う。	その他	建設予定地につきましては、約2年間にわたり、地域の皆さんと話し合いながら検討した結果、ご了承を頂いたものと認識しております。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
14	車のない人はどうするのか。バスも出してくれないとのこと、だから断固反対する。	不採用	集会所の日常的な利用に関しましては、市内に37箇所ある他の集会所との公平性の観点から、市の車両による利用者の送迎は予定しておりません。 なお、「身近なコミュニティ拠点」として、柏木地区の空き店舗、はますます保育園、JA北いしかり浜益出張所会議室を地域の皆さんにご利用いただけるよう、必要な準備を進めてまいります。
15	公的な集会等の際には送迎用の車を都合してほしい。		
16	なぜ川下地区の住民が遠く離れた摺鉢山に避難する必要があるのか。	その他	新しい集会施設は、避難所としての役割も想定しておりますが、川下・柏木地区全ての人を収容することはできませんので「いかに多くの避難先を確保するか」という視点を持ち、地域の皆さんと工夫して取り組む必要があると考えております。 なお、川下地区の指定避難所は「旧浜益中学校」ですが、一時避難場所である「はますます保育園」の活用についても検討してまいります。
17	木造となっているが、雪等の障害等、管理はどの様に。	その他	新しい集会施設及び駐車場につきましては、冬期間の利便性に支障が生じないよう、適切に管理いたします。
18	集会所の居室、床等は優しい床に。	参考	今後、新しい集会施設の設計に当たって、参考とさせていただきます。

(別紙) 避難所または集会施設の必要性等に関するご意見

(必要性について)

- ・高台には一本の木も生えておらず、すぐにでも利用可能などても良い状態である。斜面ではあるが、よちよち歩きの子どもが転ぶことなく歩き回れるほどの、とても緩やかな傾斜である。高台周辺の山の所有者が自分の家の裏山を提供するという声が上がっている。この高台であれば、集会施設兼一時避難場所としても、建て替えの話が確定できていない保育園の建設場所としても適している。
- ・川下地区には荘内藩によって伝えられている奴道中、神楽の天狗舞などの伝統文化を守り続けている人も多く、そのような人たちの集合場所、練習場所、道具の保管場所が必要である。
- ・新しい集会所に避難するには車での移動が必要でみんなを助ける時間がない。
- ・新しい集会所は遠いため、高齢者や女性は自分で避難することができない。
- ・避難するにも車が無い人はどうすれば良いかわからない。
- ・小さくとも川下地区に施設があれば安心感がある。
- ・柏木地区まで行く間、車を利用して何か問題があつたらどうするか心配。各地区に婦人会、自治会、高齢者など行事ができる場所が必要。
- ・一年に一度のお祭りもできず寂しい思いをしている。
- ・車の運転ができなくなったら行くことができない。
- ・川下地区に普段使用する集会所、会合場所がない。
- ・自治会活動、お祭りに使う備品などの保管場所が必要。
- ・川下地区は高齢者が多く、高台に土地があるため。
- ・川下神社付近の高台は避難所の建設に適していると思う。
- ・コロナの問題で不安もあり、地域に分散したほうがよいと考える。
- ・子どもがまだ小さく、今後親がいないときに何かあった時のため、近くに避難所が必要。
- ・倉庫、物置などの名目で、少人数の集まりに利用できる施設を建ててはどうか。プレハブでもよい。
- ・地域に人が集まるところがなく寂しい。

- ・各地区に小さくても避難所になるような集会所が必要。
- ・川下地区に避難所がないと困る。
- ・私の家族は何かあれば川下神社に避難すると決めており、その近傍に集会施設があれば便利。
- ・高齢化が進む中、一本化して良いのか。
- ・災害があつたらどうする、近くの山に登る。なぜ4キロも離れた施設に避難しなければならないのか。はます保育園に避難するにも使い勝手が悪い。炊事場もない、飲み会も駄目、何の楽しみもない。
- ・新しい集会施設もはます保育園も遠くて避難できない。
- ・川下神社付近の高台は夕日のきれいな心和む場所であり、土地を提供するという声も多々あるため。
- ・他の集落に行くことはできない。柏木のほうは、私は反対。
- ・川下、柏木地区にそれぞれ施設があるべきで、それを考えるのが政治である。
- ・避難するならなるべく近く安全な場所がベストと考えるため。
- ・冬の猛吹雪の場合、通行不能になる可能性がある、両地区の会合等を同時に開催することができない、管理人の確保、津波の際浜益川を渡って避難できるのか、などの課題がある。
- ・災害にも津波、地震、洪水、暴風、大雪、停電と、様々な形に対応できる避難場所、道路が寸断されても徒歩でも行けるコミセンが必要不可欠である。
- ・日常的な会議スペースが川下に2カ所、柏木に1カ所提示されているが不便なので利用できない。昔はコミセンがあり、地域住民が集まるのに時間が掛からなかった。高齢者の孤立化を防ぐには近くにいつでも集まることができる場所が必要である。
- ・なぜ川下住民が遠く離れた摺鉢山に避難する必要があるのか。市は一時的な避難場所として、はます保育園を提示したようだが、保育園自体が盛土の上に建てられており、津波が来たら流されるだろうという意見もあるので一時避難を兼ねた多目的集会施設が必要。
- ・川下に土地をもつ人が寄付するので川下に建ててほしいという意見がたくさんあるとのこと、それには賛成する。
- ・今川下地区には人が集まれる場所は何一つなく、いつでも自由に人が出入りでき集まってお茶を飲んだりお話をしたり笑ったり、地域の人が利用できる集会所が欲しいと声を揃えて言っている。